

千葉国際芸術祭実行委員会第5回総会 議事要旨

市民局生活文化スポーツ部文化振興課

1 日 時

令和6年6月25日（火） 13時30分～

2 開催場所

千葉市役所新庁舎 高層棟4階 幹部会議室

3 出席者

（委員）神谷委員長、佐久間副委員長、磯野委員、志村委員（代理）、山梨委員、植草委員（代理）、青柳委員、中元委員、綱島委員、小池委員、小川委員、鶴岡委員、那須委員、橋本委員、折原委員

（事務局）堺生活文化スポーツ部長、吉野文化振興課長、川口文化振興課長補佐、横山文化振興班主査 伊藤（博）主任主事 小清水主任主事 伊藤（雅）主任主事、安藤主任主事

4 報 告

千葉国際芸術祭2025令和5年度プレ期間事業実施報告

5 議 題

- （1）千葉国際芸術祭2025令和5年度収支決算書（案）について
- （2）千葉国際芸術祭2025令和6年度実施計画書（6月版）（案）について【非公開】
- （3）部会への諮問について【非公開】

6 議事の概要

千葉国際芸術祭2025令和5年度プレ期間事業実施報告を行った。

- （1）千葉国際芸術祭2025令和5年度収支決算書（案）について
収支決算について説明を行い、承認を受けた。
- （2）千葉国際芸術祭2025令和6年度実施計画書（6月版）（案）について
実施計画書案について説明を行い、承認を受けた。
- （3）部会への諮問について
部会への諮問について、承認を受けたため、部会への諮問を行った。

7 会議経過

【神谷委員長】 それでは、次第に従いまして、議事を進行してまいります。よろしくお願いいたします。では、はじめに、「千葉国際芸術祭 2025 令和5年度プレ期間事業実施報告」について事務局から説明願います。

<事務局説明>

【神谷委員長】 では、令和5年度プレ期間における実施事業について、中村総合ディレクターから、お考え等を伺えればと思います。中村総合ディレクター、お願いいたします。

【中村総合ディレクター】

芸術祭の企画を目的に千葉市に何度も通っている。特にプレ期間は多くの出会いがあり、その一つ一つは報告書には表れていないが、今後の可能性を導くものであった。参加した作家たちも、千葉でどんなことをやれば千葉の人たちと関係を深め、充実した時間を作れるか工夫している。

アフタースクールは、市内で広く展開していることに可能性を感じ、プログラムを展開しやすい雰囲気があった。教育的にも学校と隣接した地域の人たちが接続しうる環境であると思う。アフタースクールでは今後も展開していきたいと考えており、栗原さんの企画を進めていきたい。新たな知覚を子どもたちが得られる場だと感じた。積極的にアフタースクール自体が開いていくイメージを持つことができた。

スローアートコレクティブは、センシティ通路の、雨風をよけられ、佇むことのできるユニークな空間を使わせてもらった。通行人が、その場所のことをちょっと楽しいひとときを過ごせる緩やかな空間、緩やかな場であると気づいたときに、のんびりと時と場所を楽しんでもらえる仕掛けとしてスローアートコレクティブのプロジェクトがあることの意味。急いで合理的に何かを達成しなければいけない窮屈な日常の中で、余白の中での体験の連鎖が、まちの魅力や創造性を感じさせるきっかけとなることが非常に大事だと思っている。

スローなことというのは、例えば「何かを食べる」という活動に対して、ひと呼吸おいて考え、生産者へ感謝をするなど、一日を過ごすことができた感謝や充実感を感じる時間を持つことも「スロー」な出来事であり、人間の営みとして非常に重要なことだと思う。

まちのここを開くというテーマのもとに実施したプレ会期は、短期間で制作を行い、広報体制もまだ整っていない中で実施したため心配していたが、市との連携を含めて、本会期に向けての条件が徐々に整ってきたという実感がある。

【神谷委員長】

事務局説明及び中村総合ディレクターのご説明について、委員の皆様からご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

【青柳委員】 中村総合ディレクターの、アフタースクールでのワークショップについて効果を感じられたというご意見について、私も同意見です。特に小学校は保護者にとっても訪れる機会が多い場所。中学校・高校になると保護者が訪れることが少なくなると思います。そのような意味では小学校は地域に溶け込んでいて、敷居の低い場所でもとてもいい場所。地域の人がイベントをやっていると行きやすい、のぞいてみやすい行動に移しやすい場所であると思う。土日になると管理の問題などハードルが高いと思うが、それも含めてご検討いただけるのであれば、小学校を活用するということは市民の方にとっていいことだと思う。

【神谷委員長】ありがとうございました。他にご意見はございますでしょうか。
ご意見ございませんようですので、5年度の報告につきましては以上とさせていただきます。
なお、この後、議案2で5年度の事業も踏まえた形でご意見をいただいても問題ございません。
では、次に、議案第1号「千葉国際芸術祭実行委員会 令和5年度収支決算書(案)」について、事務局から説明願います。

<事務局説明>

【神谷委員長】資料1-2 監査報告書をご覧ください。表面に小川監事の監査結果がございまして、裏面に折原監事の監査結果が記載してございます。本件につきまして、折原監事から監査報告をお願いいたします。

【折原監事】5月29日に、監事の折原が、5月30日に、監事の小川利幸氏が、千葉国際芸術祭実行委員会規約第6条第3項の規定に基づき、令和5年度出納その他の会計事務について関係書類を監査した結果、収入支出とも適正かつ確実に処理されていることを確認しましたので、報告いたします。

【神谷委員長】ありがとうございました。事務局より説明がありました「千葉国際芸術祭実行委員会 令和5年度収支決算書(案)」について、ご質問等はございますでしょうか。

質問なし

【神谷委員長】ご意見、ご質問等がなければ、議案第1号について承認としてよろしいでしょうか。

異議なし

【神谷委員長】ご異議ないようですので、議案第1号については、決定とさせていただきます。続きまして、議案第2号「千葉国際芸術祭 2025 令和6年度実施計画書6月版(案)」につきましては、非公開議事となります。

公開はここまで